

平成28年10月23日執行

〈定数16人〉

伊豆市議会議員選挙公報

伊豆市選挙管理委員会



厳正・責任

下山しよぶじ

無所属 (六一歳)

① 強い 伊豆市の創造

高齢化・過疎化による伊豆市の経済の疲弊が進んでいます。行政・企業・市民の連携をとおして伊豆半島の「へそ」である伊豆市がリーダーシップをとり、伊豆は一つを「コンセプト」に世界に伊豆の素晴らしき観光を発信していこうと考えます。

② やさしい 伊豆市の創造

子育て支援の充実により、女性が仕事と家庭の両立ができる環境整備を進めていくことが肝要であると考えます。同時に高齢者も色々なチャレンジをとおして生き生きと活躍できる社会の創造に向けて取り組みます。

③ 安心・安全な 伊豆市の創造

近年の自然災害の甚大な被害はいつどこで発生するか予測ができません。防災はもちろんです。災害発生時の相互扶助の役割として綿密なネットワークづくりの確立により災害時には早期の復興に取り組みます。

安心して住み続けるために!

ぶれない5つの信条

地域の皆さまと共に、住んでよし、訪れて良しの伊豆市づくりを「ただお」にまかせてください。「三田ただお」は5つの分野に全力投球致します。

- 子ども達の教育環境整備に地域の声を大切にいたします。
- 伊豆大好き人間として、自然を守り育て、観光にぎわいの里造りに取り組みます。
- ワサビ農家・シイタケ農家・稲作農家等の農業再生に取り組みます。
- 制定した議会基本条例を更に改善し皆様の声を取り入れより身近な議会になるよう、議会改革に努めます。
- 子育てしやすいまちづくりと日本一の健康寿命伊豆をめざします。



三田ただお

税金は市民のくらし応援に



反戦・平和
つらぬき94年
日本共産党

木村健一

「市民が主人公」が信条です

議員の役割は、行政の本来の役割である「住民の福祉の増進をはかる」(地方自治法) ため、行政をしっかりとチェックすることにあります。相次ぐ医療や介護、くらしにかかわる負担増で市民の生活が大変になるなか、くらし応援を最優先に予算が使われるよう、全力をあげます。

- 子どもの医療費は18歳まで完全無料に
 - 小中学校の教材費などの保護者負担軽減を
 - 国民健康保険税は一世帯一百万円の引き下げを
 - 「いきいきパス」は百円のみで支払いで乗車できるように
 - 市内業者の仕事づくりに住宅リフォーム助成制度の復活を
- 天城湯ヶ島支所の移転計画は一から見直し、公共施設として存続させます

改選、戦争法、原発再稼働
医療・介護の負担増、白紙領収書…

安倍暴走政治NO!の
願いをお寄せください

迷走・開き直りー
市民不在で病院誘致

文教ガーデン計画は中止、撤回を

平成28年10月23日執行

〈定数16人〉

伊豆市議会議員選挙公報

伊豆市選挙管理委員会



森 よしお

子育て・福祉のまちづくり

待機児童は出しません

住むなら伊豆市だ

子育てするなら伊豆市だ

住みよい伊豆市をつくらう

透明で、クリーンな伊豆市をつくりま

透明で公正な隠し事のない

伊豆市をつくりま

文教ガーデンシティは行き詰まりました

選挙公約違反です。凍結しましょう。

新中学校の設計には不都合があります

市民の声を大切にします。主役は市民です

20世紀型の箱物や、公共工事を見直し

21世紀型の地域づくりを進めます

健康、福祉、教育、環境を重視します

福祉・教育・一次産業で雇用を創出します

少子高齢化に対応、人口減少対策を強化

まちづくり8策

1 自立・自治

2 情報公開、透明で公正なまちづくり

3 市民のための市政

4 健康寿命世界一
健康寿命を伸ばし、介護とさようなら

5 教育の充実

6 自然との共生

7 環境の保護、まちの美化、自然破壊と決別

8 安心・安全のまちづくり

防犯灯、防犯カメラの充実

だれもが住みたくなり来たくなる伊豆市を造ります



鈴木 まさと

「他人を裏切るな 道は遠くても・・・」

50歳新人

◎病院移転は選挙公約違反です!!

「文教ガーデンシティ事業」の

凍結を求めます!!

◎3中学校は存続、

修善寺4小学校は継続へ!!

「ムダな公共事業中心」の市政から、
「住民の暮らしと生命を大切にする」市政へ転換し、
『伊豆市の再生』に取り組めます!!

1. 各地域の中学校を存続させましょう!
2. お年寄りや障害をもつ方などへの移動手段のサポート強化をします!
3. 健康診断受診料の補助拡大に取り組めます!
4. 伊豆市版「給付型奨学金制度」の創設を推進します!
5. 市民の暮らしに関わる「ライフライン」の整備をすすめます!



大川 あきよし

伊豆市雲金三二五番地

六十六歳・農業・無所属

伊豆市議会議員候補者

大川あきよし

誰もが安心して住み続けたい

夢あるまちづくりを



一、市民が第一の活気ある

まちづくり

二、地域・生活環境を重視した

まちづくり

三、地域産業を活用した

まちづくり

四、健康で心地よく生活できる

環境づくり

五、防災・防犯に強い安全・安心な

まちづくり

平成28年10月23日執行

〈定数16人〉

伊豆市議会議員選挙公報

伊豆市選挙管理委員会

この街の宝 次の世代へ!!

4つの挑戦

安心・安全・防災の街

□巨大地震に備えた危機管理の強化

- ・緊急避難路の道路整備
- ・応急救護医療の研修

(防災指導員の育成、トリアージの習得)

子育て支援の推進

□子どもの健康の維持・増進

- ・働きながら子育てできる環境の整備(子ども園の充実)
- ・皆が集える公園の充実

農林水産業と観光の連携

□ふるさと納税による地域の活性化を推進

□鉄スラグを利用した『海の森』づくり

高齢社会への福祉支援

□地域医療連携の推進

- ・夜間、休日の医療不安の軽減(土肥地区)
- ・過疎地域への移動販売システムの強化(中山間地域の高齢者対策)



私は皆様からのご支援のもと、一期四年、全力で街の発展に尽くしてまいりました。高齢者向け移動販売事業支援や大規模地震対策として避難タワーやヘリポートの設置、また、県に対しては八木沢・大川の改修や、県道沼津土肥線崩落の工事の早期着工など、課題改善に取り組んでまいりました。

しかしながら、市内には取り組まなければならない課題が山積しています。観光産業発展のための環境整備(ジオパーク世界遺産認定に向けた取り組み)、水産業の振興に向けた『海の森』づくり、特産品(椎茸、わさび、白びわ、天草など)のブランド力の強化、交通渋滞解消のためのバイパスの整備、土肥山川の改修等、早急に取り組めます。そして、小さなことであっても大切にコツコツと取り組み、皆様が安心して住める街づくりを目指していきたいと思えます。



永岡まさひろ



このまちに生まれ、このまちで育ち

このまちと暮らしたい!

◎産んでよし、育ててよし、学んでよしまちづくり。女性の声を市政に届けます。

◎得意分野をいかして健康づくり、文化活動、コミュニティ活動に全力で取り組みます。

◎観光・農業・防災等の課題にチャレンジし、みんなが暮らしたいと思えるふるさとづくりをめざします。

次の世代にツケをまわしてはなりません。健全な財政を維持するため行政のチェックをたゆまず行ない、議員の使命を果たします。



間野みどり

暮らして楽しいまちづくり



植松ゆたか

「有言実行」

市民が主役の伊豆市へ!

(安心・安全な伊豆市を市民の手で)

農業政策

- 遊休農地の活用を目指し、有効利用を!
- 農業新規参入促進へ

観光振興

- 観光関係の自主的な振興策と積極的な支援を!
- 自然環境を生かした観光地創りを!

商工業振興

- 地域商工業の活力再生
- 観光との共有化

その他

- 伊豆市の地域特性を生かしたゾーン創りを!
- 伊豆市の特性を生かした核創りを!

(次世代のために共に創ろう明日の伊豆市)

平成28年10月23日執行

〈定数16人〉

伊豆市議会議員選挙公報

伊豆市選挙管理委員会



ほしや 和久

62才

活力ある住みよい街づくり

- 一・小学校の存続
小学校は、地域の核になっています。地域のありようは、小学校を中心を広がると思います。小学校があるから、若い家族が引越してくる可能性もあります。無くなると周辺に住んでいる若い家族が引越していく可能性もあります。益々高齢化が進みます。
- 二・沼津、三島方面で働く人達のベッドタウンとして位置づけ、土地の有効利用を図ります。それに伴い安心して子育てが出来る環境を整えます。
- 三・安心して暮らせる集落
少子高齢化、人口減少に伴い空き家が増え、今後集落の維持が難しくなるところもあります。地域の住民の皆さんと
“如何にしたら安心して暮らせるか”
話し合い、良い方法を見つけたいと思います。
- 四・定年退職した人達が住める環境を整えます。空き家も活用した住宅地の整備、有機栽培の指導、農業機械の共同利用等を図り、高齢者でも新たに農業（家庭菜園）に取り組むことが出来るようになります。
- 五・豊かな自然を生かし、更に観光の振興を図ります。有機栽培等で育てた作物、新鮮な魚介類を生かし、心から喜ばれる観光地を進めます。
- 六・無駄を省き財政の健全化を進めます。



無所属

みずぬま あきお

牧之郷

「未来につながる

まちづくり」

市民の代表とは、市民から付託を得て当選したからではなく、任期中に何をやったのかで初めて代表となります。

平成二十四年十月の初当選以来、夢中で走り続けてまいりました。この間、直面した諸問題や支援者をはじめ多くの方々からたくさんのお言葉を頂きました。その一つに、今、大きな課題となっている教育も福祉も年金も国民健康保険等も世の中のあらゆることごとを考えると、最後は少子化と超高齢社会の問題に行き着きます。このことは私たちに突き付けられた問題として避けては通れない重要な案件となっています。

このような現状の中、伊豆市に生まれてよかった伊豆市の学校で学んでよかった伊豆市に住んでよかったと思える社会を創出することが私の仕事です。次の四年間は市民の皆様の議員活動であること、を改めて肝に銘じ、皆様のために何ができ、何をやったら市民生活に結び付くのか、一度原点に立ち返り考えていこうと思っております。



「誠実・行動・実行力」

みずぬま じゅんじ

躍進 54歳

大切なふるさと

伊豆のために

全力投球します！！



剣道三段

子供たちに胸を張って誇れるふるさとへ！

安全・安心なまちづくり

▶地震、津波対策（避難路・避難場所の整備、防災備品の確保などを自治体と協働で行い、地域防災力の促進を図ります。）

高齢者にやさしいまちづくり

▶ひとり暮らし・高齢者等見守り事業の促進に努めます。

地域経済の活性化

▶産業力の強化促進を図り、地域資源の掘り起しを行い『伊豆市ブランドの構築』に努めます。

郷土愛をはぐくむ教育支援

▶子供たちが、自然とのふれあいや伝統文化の継承でふるさと自慢が出来るように地域愛の醸成に努めます。

ひらかれた議会づくり

▶ブログ・facebook・広報誌等で市政・地域情報の発信を行い、定例会毎の『市政報告会』を開催し議会改革・行財政改革の推進に努めます。



プロフィール

昭和37年5月土肥生まれ（54歳）
東京工芸大学短期学部写真科卒業
（元）土肥幼稚園PTA会長
土肥町消防団第二分団長
土肥小学校PTA会長
中浜区区長
（現）伊豆市議会議員
伊豆市商工会理事
伊豆市観光協会土肥支部理事
伊豆市太鼓連盟会長

伊豆市議会議員選挙公報

伊豆市選挙管理委員会

伊豆市の未来へ 今できることを！



山口しげる

昭和二十八年生（六三歳）

次の世代に胸を張って引継げる
伊豆市を皆さんと共につくるため全力で
4つの事に取り組みます

市民のための市政に

- 地方自治の原点であるコミュニティ活動の強化
- 市民の皆様の声を市政に反映するため意見交換会の実施

活力あるまちづくり

- 観光・農林漁業の連携など地場産業の振興支援と働く場の確保
- 地域固有の伝承文化によるまちおこしの創造
- 豊かな自然資源の保全
- 東京オリンピック受け入れ態勢の整備

安全安心な地域づくり

- 地域防災体制の強化
- 犯罪と非行のない地域づくり
- 安心して子供を産み育てられる環境づくり
- 高齢者が住み慣れた地域で過ごすことができ仕組みづくり
- 住みたいまちに住んでよかったと実感できるまちづくり

子供たちの未来へ

- 幼児教育から義務教育まで伊豆市ならではの一貫した教育環境の整備



杉山たけし

無所属 新人

市民が安心して暮らせるまちに

市民目線の心豊かなまちづくり

住民自治の拡充を積極的に推進

市民の声を市政に生かす

市民活動への支援を充実

安全・安心を築き上げる

だれもが安心して暮らせるまちづくり

子どもの育てやすい環境づくり

防災対策の強化と地域防災力の向上

伊豆市の未来のために

常に知的好奇心を胸に抱き行動

常に創造力を肝に銘じ行動

常に挑戦を続ける



西島しんや

元気な伊豆市をつくるため全力をつくします

西島しんや五つの約束

一、修善寺中・中伊豆中
天城中の存続に全力を
尽くします。

二、福祉、医療、介護の
充実、強化を推進しま
す。

三、税金の無駄遣いを絶対
に許しません。

四、伊豆市の活力の源で
ある観光の整備に力を
注ぎます。

五、市民の皆様の声を大事
にします。

平成28年10月23日執行

〈定数16人〉

伊豆市議会議員選挙公報

伊豆市選挙管理委員会

○伊豆市の未来のために

子供たちのことを考えた教育

- 通学費補助など高校生までの支援策を
- 親・教師・地域で“子供たちを第一”に考える

くらしを支える交通

- 小型の巡回バスなど、新しい交通システム
- 各地域から伊豆縦貫道までの道路網を整備

安心安全のまちづくり

- 公民連携、協働での地域づくりを広め進める
- 道路・河川・上下水道など必要な社会基盤はしっかり整備

働くところと働ける環境

- 働く人にとって住みやすい条件を整える
- 今ある仕事を守り、観光・福祉などを軸に新たな仕事を創る



青木やすし

五十三歳

「若い世代の将来に希望を 子供たちに自信と笑顔を すべての市民に安心安全を」



波多野やすあき

(四十歳)

市政に若者の声を届けたい

まだ間に合う 若い力を活かす時！

現実に悩み
今立ち上がり
未来を創る！

▼伊豆市の人口減少が止まりません
合併前から続く人口減少、特に若者世代の域外流失は伊豆市の最も憂慮する難問です。どうすれば私達世代が伊豆市に定住を続け、どうすれば地域の活力を取り戻せるのか。私達の思い描く方策を発信して、有効な仕組みづくりを創出するのは、私達世代のほかないと信じています。

▼時流に敏感な若手の感性が求められています
物も情報も簡単に手に入る便利な時代に、一方では人と人の交流が希薄化し、伝統を守り、地域を愛するという価値観が薄れてきている今、私達世代が真剣に次代の伊豆市を思い行動すれば「まだ間に合う」と決意。若者らしい気風を議会にも吹き込んで、伊豆市の未来を創っていきます。

●地域をつなぎます

二年間の商工会青年部会長の経験と人脈を活用して各地域の若者の連携を高め、若者の声を市政へ反映させていきます。伊豆市の若者たちが、故郷に誇りを持ち、住み続けたいと思える伊豆市を目指します。

●力と力をつなぎます

言うまでもなく若手だけでは問題の解決は困難です。世代間交流を積極的に図り、共に力と力を結集して、いまある産業の底力を高め、人と人の連携によって育まれる地域愛を基礎として、世界に誇れる伊豆ブランドを創出します。

●人の慈しみを繋ぎます

伊豆の豊かな自然は、豊富な農産物を産出しています。地域の食糧自給率を高めることは生産者の生活安定に寄与します。学校給食においても域内物産品の使用比率を高め、感謝と慈しみの心で地域愛を育み、次世代の担い手を育てます。

●人と自然をつなぎます

年間降水量が国内屈指の伊豆市。豊かな水量を用いて小水力発電の事業化を普及させれば、街灯や、鳥獣害防止柵の電気代などを捻出できます。豊かな自然と調和した、持続可能で安心・安全なまちづくりに取り組みます。

★大好きな伊豆市の「未来を真剣に考え、本当に住みよい安全・安心のまちづくり」を目指して、皆様の手足となって走ってまいります！！



公明党公認
すぎやま
杉山まさと

昭和二十五年九月三日生まれ

私の信条

『大衆とともに』を原点に

暮らしの現場の声を

市政に反映いたします。

実現しました！

◎ 安心・安全・くらし

- ・学校施設の耐震化
- ・防災ラジオの配布事業の推進
- ・天城北道路整備を推進
- ・(2度、国土交通大臣への要望活動を仲介)
- ・土肥地区に海抜・避難経路の案内表示を整備
- ・移住推進のために空き家情報を提供
- ・伊豆総合高校通学路の安全対策・街路灯整備

◎ 福祉・医療・教育

- ・不育治療費助成(県内で最初)
- ・こども医療費助成を中学3年生まで拡大
- ・胃がんリスク検査(ピロリ菌検査)の実施促進
- ・妊婦健診の無料化拡大
- ・5歳児検診の導入
- ・高齢者のバス料金の助成

杉山まことは目指します！

- ★少子高齢社会に対応した福祉の充実
- ★観光資源を活かした魅力あるまちづくり
- ★農林業の復興と担い手の育成
- ★健康長寿のまちづくり
- ★ボランティアの育成支援

平成28年10月23日執行

〈定数16人〉

伊豆市議会議員選挙公報

伊豆市選挙管理委員会

伊豆市全域の防災力アップを目指します！

もし、子育てに適した街で無かったとしたら、当然に人口流失につながります。その為にも子育て支援の強化と教育環境の充実、就職・起業の応援体制づくりの強化を図ります。シニア世代の方々が地域で生きいきと暮らせる環境整備と健康づくりへの意識高揚を行い、シニア世代の経験が生活の役に立つ明るい街づくりを目指します。

将来に希望の持てる街づくり

活力の原点は、定住人口の増加、経済基盤の強化が必要です。今までの各種産業（農林・観光）の基盤強化に加え、新たな地場産業の掘り起こしと観光産業の連携を行い、流動人口の増加をはかり、観光客に対して「伊豆市って良い所だね」と言ってもらえる様な街づくりを目指していきます。

活力のある街づくり

伊豆市全体の67パーセントは山林が占めており台風・大雨等による土砂災害が危惧されます。いち早い避難行動がとれるような防災体制づくり、単一自主防だけでなく横の繋がりがあがる防災組織を作ることによって、伊豆市全域の防災力アップを目指します。

安心・安全な街づくり

いつ来るか分からない地震、対策が遅れると大きな被害が出る台風、大雨による土砂災害など「災害にも強い」新しい街、伊豆市を目指します



たにむら ひこいちろう

谷村彦太郎

「一意専心」

投票入場券は

10月12日（水）に各世帯に郵送しました。ご確認のうえ、入場券をお持ちになって投票にお越しく下さい。入場券がなくても、選挙人名簿に登録されていれば投票できます。

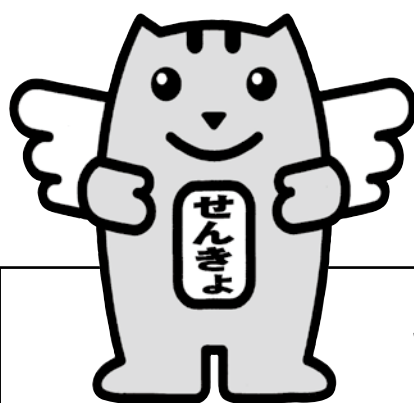
市内に転居された方は

10月7日（金）以降、市内に転居された方は、転居前の投票場所での投票になります。

不在者投票をする場合は

名簿登録地以外の市区町村に滞在されている方や、老人ホームなどに入所されている方の不在者投票は、従来どおり行われます。なお、投票用紙の請求はお早めにおねがいします。

10月23日 日



投票時間

午前7時から午後8時まで
(土肥地区は午後7時まで)

伊豆市議会議員選挙

伊豆市選挙管理委員会 電話 72-9869

平成28年10月23日執行

〈定数16人〉

伊豆市議会議員選挙公報

伊豆市選挙管理委員会

投票は あなたが主役の 意思表示

伊豆市議会議員選挙

投票日は



Youtubeで選挙CM公開中

10月23日 日

投票時間

午前7時から午後8時まで (土肥地区は午後7時まで)

投票日に仕事やレジャーなどの予定がある方は

『**期日前投票**』をしましょう

期日前投票	場所	期間	時間
	生きいきプラザ	10月17日(月)~22日(土)	午前8時30分 ~午後8時
	中伊豆支所	10月18日(火)~22日(土)	
	天城湯ヶ島支所		
	土肥支所		
修善寺駅構内	10月18日(火)~20日(木)		

※投票日当日の投票所は、入場券に記載されている投票所となりますのでご注意ください。

伊豆市選挙管理委員会 電話 72-9869